

令和 8 年 1 月 19 日 開催
調査

経済福祉常任委員会資料

○調査事件 15 木質チップの活用状況について

福祉課

調査事件15 木質チップの活用状況について

1 吉岡温泉のバイオマスボイラーの導入について

新たな吉岡温泉の熱源について、町では国の脱炭素化施策方針に基づき、町内の森林資源を有効活用し地域資源循環型社会の形成を目指すこととし、従来の重油型ボイラ方式からバイオマスボイラ方式に方向転換しております。

なお、バイオマスボイラ方式として、メインボイラは木質チップを使用し、サブボイラに灯油ボイラを導入しております。

この方式での変更により、地域資源の有効活用と経費の削減を目指すものであります。

2 燃料費の比較について

(1) 令和5年度と令和6年度の燃料費について

従来の燃料方式では、A重油をメインとしプロパンガス及び灯油を併用する方式でしたが、新たな施設においては、バイオマスボイラに変更し、木質チップをメインとし灯油を併用して使用しております。

燃料方式の変更に伴い、令和5年度と令和6年度の燃料費の比較では、下記の表のように9,806千円の減となり、燃料費の大幅な削減に繋がっております。

表1 燃料費の対比 (単位：円)

区分	令和5年度①	令和6年度②	差引②-①
A 重 油	16,900,620	-	△16,900,620
プロパンガス	1,444,256	-	△1,444,256
灯 油	364,574	3,696,429	3,331,855
木質チップ	-	5,206,872	5,206,872
合 計	18,709,450	8,903,301	△9,806,149

(2) 木質チップ等の使用状況について

令和6年度と令和7年度の木質チップ及び灯油の使用量を比較すると表2及び表3のとおりとなっており、令和7年度では前年比25.73トン、1,153千円の増加を見込んでおります。

一方、灯油に関しては、令和7年度では前年比1,549リッター、122千円の減少を見込んでおります。

なお、現在のチップ搬入状況については、1回の搬入量約5トンをトラックで2回に分けて搬入しております。

表2 木質チップ使用量

(単位：トン、円)

区分	令和6年度①		令和7年度②		差引②-①	
	使用量	金額	使用量	金額	使用量	金額
4月	5.25	127,050	29.02	766,128	23.77	639,078
5月	27.48	665,016	25.47	672,408	△2.01	7,392
6月	15.03	363,726	16.30	430,320	1.27	66,594
7月	19.75	477,950	15.01	396,264	△4.74	△81,686
8月	14.93	361,306	17.01	449,064	2.08	87,758
9月	10.38	251,196	3.05	80,520	△7.33	△170,676
10月	15.65	378,730	5.53	145,992	△10.12	△232,738
11月	9.16	221,672	29.84	787,776	16.84	464,728
12月	26.14	632,588	21.66	571,824	△0.14	53,812
1月	21.74	526,108	26.00	686,400	4.26	160,292
2月	22.97	555,874	26.00	686,400	3.03	130,526
3月	26.68	645,656	26.00	686,400	△0.68	40,744
合計	215.16	5,206,872	240.89	6,359,496	25.73	1,152,624

※R8.1～3月までは見込額

表3 灯油使用量

(単位:リッター、円)

区分	令和6年度①		令和7年度②		差引②-①	
	使用量	金額	使用量	金額	使用量	金額
4月	3,286	397,606	2,810	370,920	△476	△26,686
5月	1,468	177,628	640	84,480	△828	△93,148
6月	910	110,110	1,280	161,920	370	51,810
7月	510	61,710	510	64,515	0	2,805
8月	681	82,401	370	46,805	△311	△35,596
9月	630	76,230	4,040	511,059	3,410	434,829
10月	2,273	275,033	3,080	389,620	807	114,587
11月	6,131	741,851	1,220	154,330	△4,911	△587,521
12月	3,140	385,055	3,360	425,040	220	39,985
1月	3,550	454,245	3,600	455,400	50	1,155
2月	4,200	554,400	4,200	531,300	0	△23,100
3月	2,880	380,160	3,000	379,500	120	△660
合計	29,659	3,696,429	28,110	3,574,889	△1,549	△121,540

※R8.1～3月までは見込額

3 今後の木質チップの搬入計画について

温泉で使用している木質チップは、令和6年度からこれまで木質チップ取扱事業者が知内町から搬入しております。

その理由は、温泉に設置しているバイオマスボイラーの推奨とされている木質チップの含水率は40%以下となっており、地元産材の木質チップの含水率が基準に満たないことが要因であります。

現在、町内産材は木質チップ製造ヤードにストックされており、令和8年度からの安定供給が可能となる見込みである旨取扱事業所から報告を受けており、森林整備を所管する産業課と連携を図り、供給体制の確立を目指してまいります。

4 吉岡温泉の今後の改修計画について

吉岡温泉については、令和6年4月のオープンから1年9カ月が経過し、施設の運営も安定して来ておりますが、一方で機械室・サイロ室で従業員が作業するにあたって安全面・効率面の上で支障が出ております。

これについては、昨年度の経済福祉常任委員会（吉岡温泉の排煙等対応について）の現地視察で皆様にご確認していただいており、対策としては下記のとおりとなっております。

（1）改修内容について

【サイロ室（保管庫）】

① サイロ室内部改修

現状のサイロ形状が四角形で、底部や端部のチップが永年残るため、チップが湿気る原因となり、又、サイロ端部に溜り盛り上がったチップを従業員が手作業により崩す作業が負担で、足場が悪く危険も伴うことから、サイロ室の形状を円形に改修します。

② 換気扇の設置

チップ搬入時に浮遊する粉塵による従業員の疾病予防の為、又、換気により含水率を低下させるため大型換気扇を設置します。

③ 手すりの設置

チップ搬入時等の安全対策のため手すりを設置します。

【機械室】

④ 油煙・煤塵除去装置フィルター洗浄用シンクを設置

フィルター洗浄作業の効率化を図ることを目的に、油煙・煤塵除去装置フィルター洗浄用シンクを設置します。

【大浴場】

⑤ 手すりの設置（男女浴槽に1か所追加）

大風呂浴槽に入る際に手すりを男女1か所ずつ追加します。

(2) 概算事業費について

令和8年度のサイロ室等改修にかかる概算事業費は、下記のとおりなっております。

内 容	事業費（千円）
① サイロ室内部改修	4, 600
② 換気扇の設置	2, 100
③ 手すりの設置	300
④ 洗浄用シンクの設置	1, 500
⑤ 大浴場手すりの設置	500
合 計	9, 000